

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

公表： 令和6年 3月 15日

事業所名 ひまわりルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準の配置人数よりも多く配置している ・基準人数よりも多く配置していても、足りないと感じるときもある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		・室内はバリアフリーになっている ・子どもたちにもわかるような視覚提示をしている (例:入ってはいけない場所⇒×マーク) ・屋外は一部、砂利道があり、車いすでの移動がしにくい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎朝、時間を設けて掃除、消毒を行っている ・大型マットが古くなっていたため、カバーを新しくし、水拭きできるものにした。 ・毛布や布団は定期的に洗濯している ・床の活動時間が長いお子さんにはマットにバスタオルを設置し、心地よい空間を提供している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・半年に1回、個別支援計画書の作成、評価を行い、職員全体に目標や支援内容の統一を図っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・定められた評価表以外にも施設独自のアンケートを実施して、保護者の意向を確認している。しかし、改善に努めているが、保護者の意向すべては把握できていない
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPIに公表している ・活動はフェイスブック、インスタグラムなどのSNSを利用して発信している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・島内外の研修に参加している(オンライン研修が普及したことで、研修が受けやすくなった) ・発達協会のe-ラーニングを利用しており、視聴時間も業務の予定に入れ、時間を作っている ・外部講師(ST)招いて、療育内容のアドバイスをいただいたり、研修会を実施している
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・年2回のアンケートを実施し、直接の聞き取りにてアセスメントを行い、作成している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・発達検査を用いて定期的に評価をしている ・今後は、さらに詳しい検査やアセスメントツールの利用をしていきたい。提供時間の確保や実施方法の検討が必要である

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・担当リーダーと療法士で行う
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもたちの目標に合わせて、プログラムを実施している。子どもたちの「やりたい!」「できた!」という気持ちを引き出すために、新しいものと積み重ねてきたものを組み合わせて行っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○		・集団療育を中心に、必要に応じて、個別に関わっている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・グループ療育前はもちろん、朝に1日の流れや個々の役割を確認し、昨日の申し送りも確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・必ず、チームで記録をし、分析する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・必ず、チームで記録をし、分析する
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・こども相談、すくすく広場、3歳児健診への参加、保健師とも密に情報共有するように努めている
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・対象児はいない
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・対象児はいない
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			・対象児はいない
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学前から教育委員会と積極的に情報共有をしている ・連絡状やサポートブックの作成をしている ・ケース会議への参加など

護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・こども医療福祉センターの地域支援やST支援を利用している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・利用児童のほとんどが保育園や幼稚園に在籍しており、児童発達支援の通所時において交流の必要性は低いと考えている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	・案内が来た場合は参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	・職員から積極的に話しかけるようにしているが、十分ではない ・来年度は面談以外にも話す機会を増やしていきたい
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	・ペアレントメンター等を利用したいと考えているが、今年度も実施できなかった。来年度こそは実施したい。 ・保護者同士が作業しながら、話せる機会などを設けたい
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約のときに伝えている ・廊下にも掲示しているが、もっと周知していきたい
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・ガイドラインのわかりやすい様式を作成し、契約のときや面談のときに確認している
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	・個別面談とアンケートを実施しているが、十分ではない
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・父母の会がない ・グループ療育やイベント、研修会等で保護者同士のつながりが増えればと思う ・今後は集まって話せる機会なども設けていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・療育のとき以外でもLINEで、ちょっとした相談ややり取りができるようになった
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・SNSを利用して、活動の発信はしている ・公式LINEではスケジュールや連絡調整を行っている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか			○	・保護者からの指摘で気付くこともある ・保護者との情報共有の場所や方法等も配慮していきたい
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・地域イベントに『駄玩具屋さん』を出店し、ひまわりルームをもらう機会を増やした

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	・自由に閲覧できるように設置している ・もっと周知していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・安全計画を立て、防災訓練等を行っている ・もっと周知していきたい
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・保護者からの事前の聞き取り、アンケートでも定期的に確認している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・必ず、作成し、共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人全体でも、事業所内でも行った
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			